

刊夕日六十月九

常磐每日新聞

定価 一円二角五分
電話 五五五
發行所 常磐毎日新聞社
印刷所 常磐毎日新聞社

成功への私見 (一)

國田 滿男

私たちは、その少年時代から今日に至る幾星霜、成功といふ熟語を聞慣れてゐます。見慣れてゐます。...

追つたのです。私のこの告白は、或は已に諸君の経験せられました結果を、偶然にも代表してゐるやも測り知れませんが、成功、失敗、私は其の後悶々としてその正體を突きとめる爲の焦りを續けました...

であるか、家庭の夕、父母の膝邊に蹲つて聞いた立身の如何なるものであるかが年と共になんとほなしに、疑はしくなりました。斯して六春秋を送り、或は更に五星霜を経て校門を辭するの時、卒業證書を固く握つた腕を凝視して、はち切れんばかりに膨れた動脈に、『成功々々』と音たて、流れる血潮は感ずると同時に『如何なるものが成功なりや』の疑惑の霧の眼界一面にたち籠めてゐることを氣付くのでした。...

文藝募集

りを痛感しました。『成功失敗』への過去三四年の努力焦心が、やうやくにして齎した結論、をこがましい言ひ方ですが私の其の結論は成功は結果の謂に非ず、其の人の過程の、内面的勝利の場合の意なり矣。でございませう。無論私の思想経験の未熟未成は、完全なる、無缺なる解釋をなすべく其の能力を有らなせんが、それが誤解でないこと、認見でない事の確信は、動かすべからざる根據を据ゑて、私の社會觀の上に居然たるものがあります

秋を感ず

大竹秋平

蟬の聲彼方に聞え日的光白うしてこの朝は、いづことなく秋を感ず緑なる高き草木に風吹きてその葉を戦がせたるにその戦ぎに秋を感せしむ嗚呼、日的光の白く弱くして其の光に秋は有り静けき秋は有り白き蝶とびて尚、秋の素枯れを見せざれど庭の深みゆく緑に秋はあり空を飛び行く鳥其鳥の姿暫くして消えたるに秋を覺えしむ我が家は静かなる氣動きて山莊の如く心、幽たり

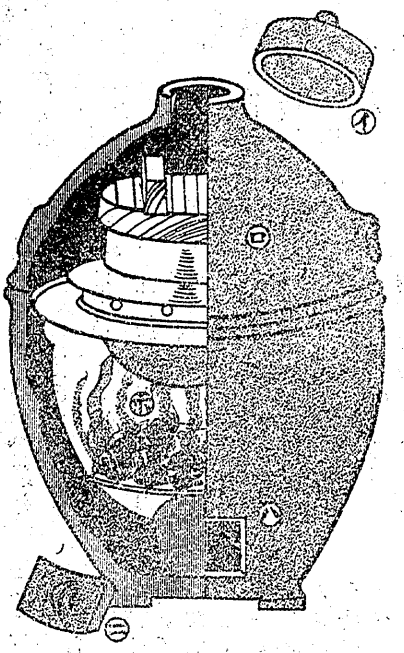
科人婦。科産
院醫坂井
町田町平
番九五五話電

三井の商品切手

平三電 三八四番

許特案新

號五一三五一第



●本品にニセ物有小鍛治式に御注意

元賣販造製
店商治鍛小
番三三電 三平

耳鼻咽喉科専門

平町南町一(眞木辯護士跡)

増田醫院

電話四八二番

醫學博士名推獎

胃腸病 婦人病 其他の慢性諸症
肥り度い人の福音 熱くなく痰つかず無煙式 誰にも出来る理想的家庭治療器

志賀齒科醫院

特卸治 福島縣平町五ノ廿八
約代理療 福島縣平町白銀町九
販理部 産婆 關口 悦子
賣部 金拾參圓 藥及特効サシ五週間分付
表價定 金拾圓 藥及特効サシ五週間分付
(説明書呈)

高久病院

院長 醫學士 高久 忠
副院長 新潟醫學士 赤羽 清
藥局長 藥劑師 佐竹 菊雄
内科小兒科 外科花柳病科
耳鼻咽喉科 レントゲン科
平町田町 電話五二三番

お茶の値下斷行

本場銘茶の優良品を一段と品質を向上致しまして英斷的値下致しました、何卒御試飲下さいませ
煎茶四十目袋入 十錢より五十錢まで
ほうじ茶四十目袋入 十五錢 第二號十錢

配 平町三丁目
風味 大勝園
本血 鈴木義志
電話 三九六番

速

農村不況打開に 生産品制限策

政府の方針に對し 郡農會でも考究中

石城郡内各農村は昨今不況のどん底に陥り諸税の支拂ひ不可能なるものが續出して来る傾向で石城郡農會でもこれが對策に腐心し可及的農村經濟の

回復に努めてゐるが

刻下農村の經濟的救済に關する方途としては多々ある中最も樞要と見做されてゐるものは農業生産品の統制であるがこれは

集約を基礎とする我

邦の小農經營組織においては生産量の減少を意味する生産統制を行ふ事になるのであるが市場における需要供給の大勢を精査洞察して先づ自給生活の

青空の下の 秋口笛をふく

街のスポーツと 近代生活の基調

スポーツをエンジョイする——それは、おそろしく、街の人々の軽快なモダニズムである、自然に点在されたるはくしよくの憧憬をかたるものである

我々は思想を論ずる前にスポーツを語る、それが標

之が達成に努る模様である
初秋籾取引 石城地
一先づ閉散 方における初秋籾取引は大体において終了したので種田、勿來の兩市場は一先づ閉鎖したが四倉市場のみは引續き取引をしてゐるも取引數量は極めて少く相場も幾分安値を示してゐるが晩秋籾に至つては相當ふり返すものと見られてゐる

投票所入場券 あす有権者へ

全町を二色別し 直接役員から手渡す

来る廿五日の縣會議員選舉の爲め平町役場では之が準備に忙殺されて居るが有資格者の申告済れも一段落をつけたので今度は投票所入場券を調整中であつた處々々明十七日より役員全員が町名によつて赤、白、紫と色別した入場券を以つて直

- △(白色) 新川町 一丁目
- 二丁目 三丁目 四丁目
- 五丁目 田町 紺屋町
- 研町 古鍛冶町 長橋町
- 新町 計一四四五枚

- △(白色) 材木町 鍛冶町
- 南町 久保町 胡摩澤
- 北白銀 仲間町
- 計一四〇八枚
- △(紫色) 鎌田町 立町
- 堤ノ内 南白銀町 大工町 搔樋小路 舊城跡
- 八幡小路 月見町
- 計一二三九枚
- 總計四一〇一枚

雇傭人の投票權 完全に行使せよ

平署棄權防止の注意

平署では今回の縣議戰に際し從來會社工場及商店等における使用人等にあつては就業の關係上選舉權を行使得ざる者もあつたのに鑑み斯くの如きは普通選舉制の今日甚だ遺憾なりとし内務

井上さんを勝たしてと

水莖の跡美はしく 金拾圓を寄附する

無名の女性は誰か

けふ、井上派選舉事務所へ一通の女文字封筒が配達される哉といふべきか?

然しながら、我々の街の風貌は全体的に言つて「スポーツ性」に欠けてゐる、せめて街の若うどはインテリ層を色彩する明るい憂鬱におらしめたい

秋の空は青い、澄んだコバルトの下に口笛を吹く人々の心に描く幻を、スポーツマンタイプでキヤツチする——そこに立体的生活の基調がある

今日話 の題

- ◇平町役場における最近の調査によると結婚して夫婦關係が圓滿つゞくのは五年から十年が二十一パーセント次が一年から二年で十六パーセント
- ◇一年未満が十五パーセント、二年から三年が十三パーセント、三年から四年と、十年から十五年までが九パーセント、四年から五年が七パーセントとなつてをります
- ◇そして結婚の一番多い月は三月、二月、十二月四月で、少い月は六月と七月です
- ◇なほ面白い事には、結婚の多い三月、四月、十月が離婚も亦これに伴つてゐる事です
- ◇結婚の少ない六月には離婚も少ないのですが、九月には離婚の多い事も注目すべきです

立看板不足 各派の悲鳴

選挙期日も剩すとそろ十日無く各候補者は言論戰に身を休める暇なき状態であるが一方宣傳戰として必要な立看板は一候補につき選舉事務所の看板共四十五枚に制限され各派共地盤協定をしたのはよいが郡下各町村を地盤に持つ候補は激戰區域の平町、内郷村に二十四枚を要し他は一町村一枚にも當らないものがあり何んとか出来まいかと對策を講じてゐる始末であるが各町村の要所々々には墨痕鮮やかな立看板が選舉民の眼をそつてゐる

大浦倉庫米 共同販賣

磐城産業組合の大浦倉庫に於ける米共同販賣は十五

「そこである諸君」
そこであるア
と出たしなア
ビをしたら、だ
しのない拍手を
つたりされるので
政談演説も仲々
づかしいもの、こ
うしたくたらない
彌次には手がつけ
られないので有名なわが
平町の演説會、ある若
い辯士が反對黨の急所を
衝いて、こつびどく攻撃
したのは大出来だつたが、
そこである諸君と言ひ
も終らぬに「辯士」と大
聲で呼ばはりながら聴衆
の中から立つた男、立つ
や否や「便所はどこだ」と
やつたので聴衆もどつ
と笑ひ崩れ辯士哀れにも
「さあつたッ」

藝者數名をあけた實業家

捕へてみれば

無錢飲食 常習犯

堂々たる紳士風体に

山形屋一杯食はさる

石城郡湯本町表町山形屋旅館へ十日より投宿した自稱東京市本所區向島請地八〇株式会社菊美岸商店營業部長金澤茂と云ふ堂々たる紳士が今度東北

方面に 店の株式代理店を設置するのだと前記會社名と自宅東京市芝區白銀三光町一〇二と印刷せる名刺を出し盛に不景氣な社會を説明するので同館でも知名の實業家と思ひ彼の云ふが儘に同夜は土地の藝者

數名を 呼び大遊興をなしたが代金を一ツ々では面倒だからと五日毎に會計すると約し次の日より處所に出張する模様であつた處

三日目十三日午後九時頃貨切で平へ行くと稱して車を呼んだが手荷物を全部積込んで其儘運轉手に命じ小名濱方面へ出發するので漸々同旅館では氣付き電話を以て其筋へ願ひ出た爲同町駐在所員が湯本驛前で

取押へ 直に平署に押送取調ると前記會社營業課長も自宅も偽造の名刺で住所不定の無錢飲食常習犯で同旅館三日間旅料遊興費五十圓を踏倒さんとした事が判明した爲同旅館でもアツと驚いて居るが同人は常に堂々たる風彩と名刺で渡つて居る爲他に詐欺罪等を行つてると睨み目下嚴重取調中である

兩名だけで働き手を失ひ其日の生活に追はれて居る状態に同字西澤の

部落民は 大いに同情し各戸毎に金品等を出し合ひ何かと助合つて來たが近く同部落代表者は生残つた同家族の窮狀を村當局に申請し何分の援助を願ひ出る筈である

集金したまふ、

家へ歸らず

懸賞付きで

取押へ願ひ

千葉縣香取郡神崎村宇小松岩松長男山城清(三)は最近自家の商賣が立ち行かぬので北海道で一働きせんと再三父親に懇願してゐたがたまに去る五日貨金の取立てに出掛け三百圓程集金したので豫てより計畫して居た北海道行を實行すべく自轉車にて飛出した事を後に至つて氣付き五十圓の懸賞金付きで清の取押方を本日平署へ願出た

働き手を失つて

女ばかり残る

傳染病の犠牲となつた

哀れな一家

既報石城郡磐崎村大字西澤字大荷田佐川丑太郎(六)方で本月六日同人初め長男政信(三)長女慶子(八)タカ子(五)の四名がいづれも腸チブスの爲め

隔離され て居たが其後丑太郎、政信、慶子は病性悪化して遂に死亡したタカ子のみ辛うじて生きてゐる始末となり家庭は政吉の妻ハル(七)と母親ミナ(八)の

にて素談會を開くが當夜の番組は「養老」「清經」「通小町」等である

青訓聯合演習

石城郡下各町村青年訓練生の聯合野外演習は十月平町を中心として舉行されることになつたが演習の豫定その他は目下それ／＼青訓各幹部間で立案中だが在郷軍人分會も參加する筈である

ケン參した

四十七頭

愛犬品評會

平町愛犬家主催の關東北愛犬品評會は昨十五日午前十時から平町七丁目廣場に開催したが水戸、宇都宮方面からも遙々とケン參し全部で四十七頭集まり午後一時

全國一齊に行ふ

寄生虫豫防デー

來月一日から一週間

平署豫防思想普及策

來る十月一日より七日間は全國一齊に行はれる寄生虫豫防デーに當るので當日平署では豫防思想普及並に蛔虫驅除等の爲め講演及活動寫真を上映する外縣衛生課より送付されたポスター

榮養不良か

心臓麻痺か

幼兒の死亡原因、石城郡内郷村大字御座字下宿、齊藤義行(四)の妻ユキ(三)は十日午後七時頃自宅にて三男實(一)を添寝して居たうち實が俄に顔面蒼白

明日のラジオ

十七日

今晩の部

- 後六、〇〇 (子供の時間)
- お話「萬年筆の出来るまで」細沼淺四郎
- 後六、三〇 英語講座「初等科」(三)岡倉由三郎
- 後七、三〇 講演「電氣機械原理の發見とフアラール」高津清
- 後八、〇〇 聲色「吹き寄せ」紀之國屋由之助其他
- 後八、三〇 連續物語「双

今晩も明日も北東の風曇り

明日の部

- 前九、一〇 料理献立「バ

菊池寛原作 有恩華映上平

となり其儘昏睡状態に陥つたのでユキは、平町某病院にかけつけ收容したが間もなく心臓麻痺を起し遂に絶命したので心臓麻痺と云ふ名のもとに埋葬した事を平署にて聞込み内偵した處死せざる實は榮養不良の結果死に致つたものと判明したので目下同家庭の實狀を取調中である

最近頻々として

自轉車を盗まらる

犯人目下内偵中

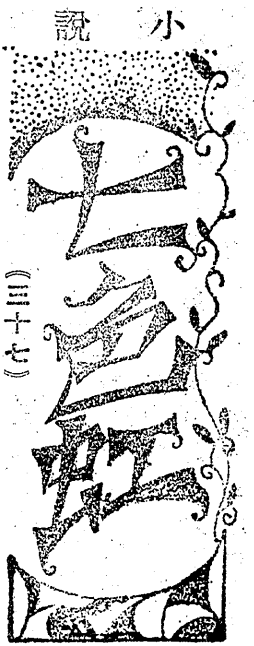
所有者は注意が肝要

平町長橋町菅野淺雄君は十六日朝自宅前に立掛て置いた自轉車を何者にか窃取されたので平署に届出たが最近町内に於いて盛に自轉車盗難が行はれ今月に這入つてから二日に一件位の割合で自轉車の盗難届があるのでは平署でも目下犯人内偵中であるが各自自轉車所有者も不注意な自轉車の立掛を注意せられたいと

石城瀨取引狀況

四倉瀨市場(十五日)

(白瀨)五七貫(最高)三圓二十六錢(最低)二圓八十九錢(馴)三圓九錢



【敬轉禁】

渡邊 默禪 作
布施平八郎 畫

小夜更けて (3)
千代子は斯う云つて、ほろ／＼と落涙した。あの意地わるな母に平生あれほどの苛めつけられて泣き續けてゐる人の口から、こんな同情の深い詞が出るかと思ふと清作はいぢらしさに胸が一杯に塞つて、頻りと咽せかへつた。

『え、そりやお最う御察ししない譯ぢやござせんけれど……どうも何でござから……。それは然うと御嬢さま。貴女御承知ですかい奥さんが今日御出ましになる時に御召物から帯、おつむりの道具、腕輪、指輪のやうな物は勿論、お手廻りの目星い品はあらまし取集めて、大きなトランクに二杯もぎつし詰込んでお持出になつたてえませが本當ですか、御存じでござるか』
千代子は涙に濕んだ目を輝かした。
『だから變だと思つてるんで……いゝえ、嘘ぢやござせんよ。まつたくのこととでござんすえ。』
『あら、まさか……嘘よそんな筈はないでせう。二晩か三晩別荘にお泊りになるだけのことぢやありませんか』

んか。それにそんなにお荷物なんか。『いや御嬢さま。そら全く嘘どころぢやござへん、あの菊どんが傍から手傳つたといつて。私への秘密話でござから。なにうそどころか眞實の話ですが。ちつと



こいつはをかしなことが出て來ましたもんぢやござんせんか。』
『あら、菊が……へえ……』
千代子は驚いた様子だつた。『とすれば、今日差押へに來るッてえことがちやんと前以てあの奥さんに分つ

て居つたもんでせうかしら……奥さんは千里眼や占易者だつたてえ話も聞きませんでしたがねえ。訝しなこともあればあるもんだ。意味ありげに言つてちよいと上唇を嘗めてから冷たい笑をうかめた。
『どうしたといふんでせうそらまつたく變だはね』
千代子は首を傾げるやうにして清作の顔をみつめた。
『私には分らないわ。』
『それから御嬢さま。つひ先刻手前の娘から電話で知らせて寄越しましたが。今日差押にやつて來た連中が

烏森の湖月で飲んでゐるさうたすよ。』
『あら、歌ちゃんから……御親切にね。』
『娘はその連中の話を聞くともなしに聞いて吃驚したつてんで、ひどく貴女に同情しましてね。お嬢さまがお可愛想だ……』

申して居りました。』
といひかけてからばち／＼とめばたきさせて、遂かに詞を吐切らしたのであつた。千代子の眼はまた曇つた。黙つて手巾を顔に持つていつた時に、清作のすゝりあげるはなの音が悲しく胸へ喰入つた。
『あいつア。苦勞性でござからな……アまるでこの親父の身に災難でも降つて湧いたやうに心配しやがつて……しつかりしてくれて……電話で泣きやがつて……電話の泣事は私ア始めて聞かされてござせえますよ。あいつは私に似て少し狂人でござ。エへ……』
清作の聲はとぎれ勝に慄へた。寂しい笑ひの餘韻の下から熱い涙がほろりと散つた。

看護婦急派の求めに應じます

平町南町 平看護婦會 電話三〇七番

時計眼鏡

トキワヤ 平一・電三三九

融金替爲。債公。券債
店質井田多
町工大町平
番一九五話電

の物刷印
て總は命用御
會社刷印日每警常
番〇三六話電

上田外科醫院
平町南町
電話二一九番

耳鼻咽喉科専門
氣管食道科
平南町 (電話一七〇番)
大和田醫院

九月十八日ヨリ公開
偉觀!!!壯觀!!!此の名番組
祝! ドン帳開き
超特別大興行
新興帝キネ超特作現代劇
明眸森静子入社第一回傑出作品
生きた涙の事實哀話(堀江六人斬)
妻吉物語 十卷



山梅の花も開かず散りもせず
堀江にさびし小夜時雨……見よ?
然して泣け地上不幸なる此の女の爲に?
メトロ・ゴウルトウイン・メーヤー
特別提供ジヨージ・ア・サー氏演
愉快な冒険大喜活劇
俺れは水兵 八卷
東亞キネマ社超特別大時代劇
市川幡谷 羅門光三郎 尾上菊太郎 原駒子他オ
ールスター
天下の副將軍 十二卷
歡樂の殿堂 皆様の……
有聲座

一冊の代金で
御希望通りな
五冊の雑誌が
自由に讀める
川崎文庫
電六三〇番
(申込次第規則書進呈)